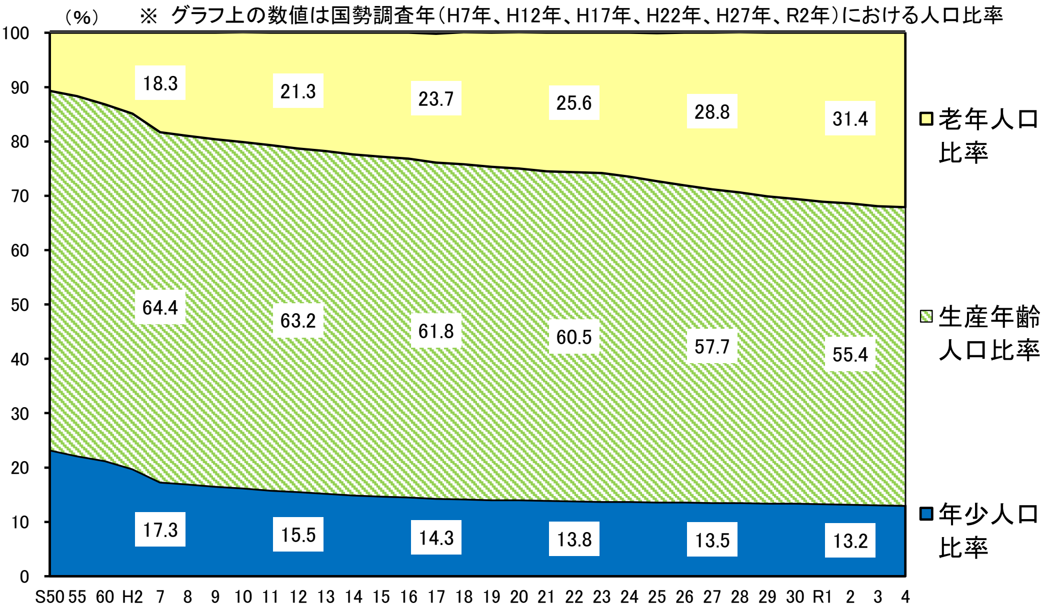
熊本県の年齢3区分別人口比率の推移



解　　説

【概要】

令和4年の県内の年齢3区分別人口比率をみると、年少人口13.0%（前年13.1%）、生産年齢人口54.9%（前年55.0%）、老年人口32.1%（前年31.9%）となっている。

昭和50年以降の推移をみると、昭和55年を境に生産年齢人口が年々減少し、また、年少人口も平成初期に2割を割り込み、それ以降も減少が続いている。

一方で、65歳以上の老年人口比率の推移をみると、昭和50年に10.7%だったものが、平成10年には20.2%と2割を突破し、令和4年には32.1%（全国平均29.0%）と全国平均よりも早く高齢化が進行している。

○年少人口
0歳から14歳までの人口

○年少人口比率
年少人口÷総人口×100

○生産年齢人口
15歳から64歳までの人口

○生産年齢人口比率
生産年齢人口÷総人口×100

○老年人口
65歳以上の人口

○老年人口比率
老年人口÷総人口×100

資　料　出　所	調　査　期　日	調査周期
「人口推計年報」総務省統計局	令和4年10月1日	毎年